

じゃっと新聞

No.74 号

総会報告 スタディツアー案内

発行日：2019. 6. 20

発行人：帖佐 徹

発行所：じゃっと事務局

〒895-0051

鹿児島県薩摩川内市東開聞町 3-1

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail info@jaddo.or.jp

<http://www.jaddo.or.jp/>



理事長 帖佐 徹

いよいよ令和となりました。梅雨空が続いておりますが皆様お元気でしょうか。本年度総会は 5 月 18 日に開催されました。本年度のラオスでの活動は、ビエンチャン市サムケ小学校の支援、カムワン県セバンファイ郡での学校保健活動がメインです。スタディツアーについては、本年度も実施方向です。しかし「じゃっと」として長く活動して来ましたが、サイトを遠隔地に移したこと、スタッフの高齢化が進み、現地スタッフもいないため、活動自体が縮小しています。かつて効果的であった教師トレーニングなども中断しています。この状況の打破のため、村の高齢者グループと学童による、世代間交流、健康長寿活動も併せて実施する「高齢者をも巻き込んだ学校保健活動」という新しいテーマを起案しました。そのためには、現地にオフィスを持って専門家も置くことが必須と考え、JICA の草の根事業に応募していく方向としました。現在、JICA 九州 NGO 組織強化研修へ継続参加中で、本年度中に応募を実現したいと考えています。本年 5 月、仙台で開催された International DM Meeting に合わせて、Dr.Somchit と Dr.Kongsap を招聘し、上記アイディアを話し合いましたが、賛成を頂きました。サイトについては、ビエンチャン市が望ましいとのことです。自然林保護のため中断している「机いす募金」に関しては、カムアン県セバンファイ郡の支援している学校では机いすは充足したとのこと。新たな支援の形を検討中です。JICA プロジェクト応募のためには国内的な広報、若い専門家の確保、財源の見直しなど、様々な努力が必要です。皆様のご協力ご支援をお願い致します。

平成 30 年度（2018 年）事業報告

自 平成 30 年 4 月 1 日～ 至 平成 31 年 3 月 31 日

昨年度は国内活動としては、じゃっど新聞を発行して、広報に努めた。絵本『はらぺこあおむし』『おなら』の本 40 冊を今年も引き続き、カムワン県の小学校に供与した。タオルも、500 枚以上が集まり、ラオスの対象校に供与した。

ラオスでの活動は、ビエンチャン市及び 25 年度より開始のカムワン県セバンファイ郡での学校保健活動を本年度も継続した。

カムワン県セバンファイ郡では、スポーツ用品や文具、絵本を供与した。長年続けてきた机椅子供与は、ラオス国の自然林を守るため木の伐採を禁止する法律が成立し、中止となった。また昨年は、セバンファイ郡教育局と 9 つの小学校にコンピュータセットを供与した。ラオスでも教育の IT 化が進み、対応が迫られているため、効率的な運用とバックアップ体制構築を条件に供与に至った。

サムケ小学校では、天井の破損など、改修が必要な部分が出てきており、協議の上、支援することとした。

スタディツアーは平成 30 年 12 月 23 日～29 日実施し、24 日ビエンチャン郊外のサムケ小学校を視察。翌日 25 日、カムワン県へ移動し、学生はトゥン村で昨年度に続き、2 泊 3 日のホームステイを経験した。前回と同じホストファミリーに受け入れていただいた。日程の関係で、夕方 4 時過ぎのトゥン村入りとなったが、小学校の生徒達や先生方、村の方々に盛大に迎えていただいた。村では日本から持参したタオルや文具、スポーツ用品の贈与式、交流会を実施した。学生は、すぐに子供達と仲良くなって、長い時間を一緒に過ごしていた。

1.国内の活動

○開発部：

◆参加したイベント(パネル展示)

鹿児島純心女子大学祭 10/26,27

薩摩川内ポートフェア 11/24

◆解決したい気持ちを形に変える—九州 NGO の組織強化（JICA×FUNN）参加 11/17-18、1/17-18、3/3

危機管理・安全管理研修参加 2/10

「じゃっど」として 26 年間活動して来たが、サイトを遠隔地のカムワン県に移したために、現地での活動が日程的に制限される事態となっている。またスタッフの高齢化も進み、新たなスタッフの参入もないため、現地での活動自体が縮小している。「高齢者をも巻き込んだ学校保健活動」という新しいテーマを行うには、やはり現地にオフィスを持って専門家も置くことが必須と考え、その実現のため、JICA の草の根事業に応募していく方向となった。そのための前段階として、JICA 九州 NGO 組織強化研修への参加を決定した。

◆れいめい中学校 立志式で講話 3/15

○絵本部

「はらぺこあおむし」「おなら」各 20 冊合計 40 冊を購入しツアー参加者を中心に
ラオス語翻訳シールを貼った。

○広報部：

◆じゃっと新聞発行 71 号・72 号

ホームページの更新

新規会員募集

ラオスの小学校に持っていくタオルを募集し 500 枚を超える数が集った。

2. ラオスでの活動

○本年度活動支援校

Tung(トゥン)村小学校 (カムアン県)

パソコン、プリンター、スポーツ用品、文具、絵本、タオルを供与。

パソコンとプリンター、タオル等は教育局と他 8 校にも供与した。

NhangKham(ニャンカム)小学校、Nhang Nhay(ニャンナイ)小学校、Sang(サング)村小学校、Som
村(ソム)小学校、VeunSe (ヴェンセ) 小学校、NaTham(ナタム)小学校、Thub(トゥブ)村小
学校、PongDeang(ポンデァン)小学校



Tung(トゥン)村小学校



Samket(サムケ)小学校

Samket(サムケ)小学校 (ビエンチャン市)

屋根改修工事 スポーツ用品、文具供与、6 クラスの屋根が改修された (写真右)

3. 視察ツアー

○日 程 2018 年 12 月 23 日～12 月 29 日

参加者：15 名(派遣学生 5 名含む) 通訳: 虫明悦生氏

活動地：ビエンチャン市、カムアン県セバンファイ郡

活動内容：本年度は、学生 7 名(大学生 2、高校生 5)を含む参加者 15 名で実施した。

カムワン県へ移動し、学生はツン村で 2 泊のホームステイを経験した。村で
は日本から持参したタオルや文具、スポーツ用品の贈与式、文化交流やバー
シーを実施した。

報告会を 3 月 9 日にすこやかふれあいプラザで実施し、参加した学生が体験談を
各自がパワーポイントを駆使して実施した。

平成30年度活動計算書及び令和1年度活動予算書

収入

	科 目	No	平成30年度決算	令和1年度予算
前期繰越	国内		3,530,401	3,291,869
	ラオス		552,640	404,321
小計①			4,083,041	3,696,190
会費・寄付金	受取会費	1	306,000	350,000
	受取寄付金	2	1,177,010	1,000,000
	机いす募金	3	85,000	0
	受取助成金	4	40,000	40,000
小計②			1,608,010	1,390,000
事業費	自主事業収益	5	1,443,480	1,500,000
小計③			1,443,480	1,500,000
その他	受取利息	6	9,615	10,000
	雑収益	7	82,729	90,000
小計④			92,344	100,000
A 当期収入合計 ②+③+④			3,143,834	2,990,000
B 収入合計 ①+②+③+④			7,226,875	6,686,190

支出

	科 目	No	平成30年度決算	令和1年度予算
事業費	学校保健費	8	148,961	100,000
	学校設備充実費	9	661,430	300,000
	地域住民健康活動費	10	0	50,000
	普及・啓発費	11	1,500	5,000
	スタディツアー費	12	2,061,926	2,100,000
	旅費交通費	13	109,286	100,000
	車両費	14	43,052	50,000
	通信運搬費	15	2,221	5,000
	事務消耗品費	16	8,441	10,000
	会議費	17	19,481	20,000
	印刷製本費	18	45,360	50,000
	雑費	19	35,830	40,000
	為替差損	20	4,530	5,000
	賃借料	21	124,675	130,000
小計⑤			3,266,693	2,965,000
管理費	印刷製本費	22	43,298	50,000
	会議費	23	2,140	2,000
	旅費交通費	24	8,820	10,000
	通信運搬費	25	103,911	100,000
	事務消耗品費	26	17,970	20,000
	接待交際費	27	4,320	10,000
	諸会費	28	40,497	50,000
	雑費	29	43,036	45,000
小計⑥			263,992	287,000
	予備費(活動準備金)			3,434,190
小計⑦				3,434,190
C 支出合計⑤+⑥+⑦			3,530,685	6,686,190
A-C=D 当期正味財産増減額			-386,851	
E 前期繰越正味財産額			4,083,041	
D+E 次期繰越正味財産額			3,696,190	

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人じゃっど

[税込] (単位:円)
平成31年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	43,298
現 金	440,933	流動負債合計	43,298
普通 預金	2,405,470	負債合計	43,298
普通預金②	488,764	正 味 財 産 の 部	
現金・預金 計	3,335,167	前期繰越正味財産	4,083,041
(その他流動資産)		当期正味財産増減額	△386,851
仮 払 金	404,321	正味財産合計	3,696,190
その他流動資産 計	404,321		
流動資産合計	3,739,488		
資産合計	3,739,488	負債及び正味財産合計	3,739,488

平成 30 年度 決算監査報告

令和元年 5 月 14 日

特定非営利活動法人 じゃっど
理事長 帖佐 徹 様

特定非営利活動法人 じゃっど

監事 若田 吉朗 

当監事は、特定非営利活動法人じゃっどの平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの平成 30 年度事業年度における業務及び会計、財産の状況について決算監査を実施したので以下のとおり報告します。

記

1. 監査期日 令和元年 5 月 14 日 (火)
2. 監査場所 特定非営利活動法人 じゃっど事務局
3. 立会人 特定非営利活動法人じゃっど理事長 帖佐 徹

4. 監査報告

平成 30 年度事業及び会計、財産の状況について諸帳簿ならびに関係書類等を監査した結果、会計原則に基づいて作成され正当に執行されていたことを認める。また業務の執行についても適正に行われていたことを認める。

以上

令和 1 年度(2019 年) 事業計画

自平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

国内活動

① 絵本部：

「はらぺこあおむし」「おなら」を今年も翻訳シールをはり、ラオスの小学校に届ける。新しい絵本を探す。

②開発部：

県内の小中学校での講話

県内の国際交流活動やイベントに積極的に参加

ボランティア体験学生の受け入れ

パネル展示の実施

各種助成金制度への応募

JICA 九州 NGO 組織強化研修への参加

事業マネジメント研修【個別相談】への参加

③広報部：

じゃっと新聞の発行、ホームページの充実更新、新規会員募集

ラオスでの活動

ビエンチャン市では、サムケ小学校での活動を継続する。

カムワン県ではセバンファイ郡での学校保健活動を継続していく。しかし遠隔地であり、現地専門家もいないので、活動が制限されている。ラオスで活動する他の NPO と連携してすすめていく。中座している、教師トレーニングも再開する。

中断している「机いす募金」に関しては、更に現地との協議が必要である。

スタディツアーについては、12 月下旬実地予定で高校生 3 名、大学生 2 名を推薦という形で旅費の一部を助成して募集する。ホームステイ」も実施したい。

「じゃっと」として 26 年間活動して来たが、活動を遠隔地のカムワン県に移したことで、スタッフの高齢化が進み、現地にスタッフがいないため、活動自体が縮小している。

村の高齢者グループと学童による、世代間交流、健康長寿活動も併せて実施する「高齢者をも巻き込んだ学校保健活動」という新しいテーマを行うには、やはり現地にオフィスを持って専門家も置くことが必須と考え、その実現のため、JICA の草の根事業に応募していく方向とする。本年中の JICA 九州への応募を実現する。

【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2019.2.1～2019.6.20）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました。（以下敬称略）

■ 平成30年度会費 豊川理恵（沖縄県）、野元善文（いちき串木野市）帖佐茉莉花（薩摩川内市）

■ 令和元年度会費 木場貞成、木場彌生（神奈川県）丹沢佳子、阿部雅昭、浅川浩己（東京都）、長谷川正和、サヤ・キエンハット、藤島美由紀（愛知県）、立石智子、橋本晴美、島田真理、床波千秋、案浦由美（福岡県）、嶽崎俊郎、納光弘、ワルト・サンフーズ、鹿島友義、鹿島直子、増田隆信、増田康佑、森岡芳子、時村兼輔、時村英輔、弓場秋信（鹿児島市）、豊川理恵（沖縄県）、野元善文、平屋四男、尻無浜むつみ、高橋真弓、小屋一美（いちき串木野市）、向井佑次郎、愛甲勝、神崎侯至、神崎裕士、橋口知章、土川京子、古田宣稔、假屋泰子、神田安代、川原恵子、山下矣磯子、中間明恵、菱刈昭郎、菱刈明子、李一衣、牛之濱ひかり、有十本松、坂元俊二郎、かんだ調剤薬局、平山健介、伊東ひとみ、宮脇美智子、牧田弘子、田中康代、泊亜希子、増岡淳子、帖佐徹、帖佐理子、帖佐茉莉花（薩摩川内市）、酒井マリ（鹿屋市）、森重学（霧島市）、小畑愛花、小幡順子（出水市）

■ 令和2年度会費 松山容子、岩田誠（東京都）、木場貞成、木場彌生、望月明子（神奈川県）、高野真綾（埼玉県）、堀田哲一郎（広島県）、豊川理恵（沖縄県）、鹿島友義、鹿島直子（鹿児島市）、小屋一美（いちき串木野市）今村正則（薩摩川内市）

■ 令和3年度会費 松山容子（東京都）、南武嗣（鹿児島市）

■ 令和4年度会費 谷口征夫（薩摩川内市）

■ 令和5年度会費 澤田達男（東京都）、丸田小百合（いちき串木野市）

■ 令和6年度会費 株ハートフル（薩摩川内市）

■ 寄付金 松山容子、丹沢佳子、岩田誠（東京都）、高野真綾（埼玉県）、木場貞成、木場彌生、望月明子（神奈川県）、立石智子、床波千秋、案浦由美（福岡県）、嶽崎俊郎、時村ヨシ、時村睦子、時村兼輔、時村英輔（鹿児島市）、丸田小百合（いちき串木野市）、向井佑次郎、古田宣稔、上白石大喜、假屋泰子、有十本松、田中康代（薩摩川内市）

■ 大口寄附金 高嶺澄子（鹿児島市）、長谷川正和（広島県）

■ 印刷協力 神崎侯至（株式会社アクティブ）

■ 新聞発送協力 立島尚子

【国内活動】

- 2月10日 危機管理・安全管理研修（高橋）
- 2月15日 れいめい中学校立志式で講演（古田・高橋）
- 3月3日 NGO第3回集合研修（JICA九州センター）（帖佐 徹）
- 3月9日 スタディツアー報告会（理事・スタッフ・ツアー参加者・保護者他）
- 5月18日 令和元年度第1回理事会（理事・スタッフ）第27回定期総会（理事・正会員）
- 5月25日～26日 NGO第4回集合研修（JICA九州センター）（高橋）
- 6月9日 学校推薦によるツアー参加者依頼のため薩摩川内市内の3高校を訪問（古田）

★スタディツアー報告会を3月9日に開催しました。発表して頂きました、秋葉美里さん、中須泰聖さん、小畑愛花さん、長谷部泰地さん、李一衣さん、若松晴香さん有難うございました!!



じゃっど INFORMATION

◆ スタディツアーのお知らせ！ ◆



今年こそはラオスへ行ってみたい！とお考えのあなた、今年もまた行きたい！とお考えのあなたへ！

12/25 (水)	V N357 V N2897	V N351 福岡 10:30-ハノイ 13:20 V N2897 ハノイ 16:40 ビエンチャン 17:50	福岡空港集合 08:00 ディインホテル泊
12/26 (木)	専用車	ビエンチャン〜タケク	メコンホテル泊
12/27 (金)	専用車	タケク支援校視察	メコンホテル泊
12/28 (土)	専用車	ツン村小学校 Baci, 文化交流等	メコンホテル泊
12/29 (日)	専用車	タケク〜ビエンチャンビエンチャン市内視察	ディインホテル泊
12/30 (月)	V N921	ビエンチャン郊外支援校、NGO等視察 V N2896 ビエンチャン 20:10-ハノイ 21:20	機中泊
12/31 (火)	V N350	V N356 ハノイ 01:35-福岡 07:20 着	福岡空港解散

※スケジュールは予定です（高校生3名、大学生2名がじゃっどの補助金制度で参加します）

締め切りは、9月30日（金）です。参加費 約14万円

◆5月23日、ラオスのカウンターパートのコンサップ医師とソムチット医師が来日し仙台で開催されたアジア糖尿病学会に参加しました。



◆薩摩川内市のFMさつませんだい発行の冊子「あおマガ」に、じゃっどスタディツアーの様子が掲載されました。欲しい方は在庫ありますのでご連絡ください。



◆2月15日古田理事がれいめい中学2年生の立志式で「2つの国でボランティア」と題し講話しました。



会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してありますので、ご確認ください。（今年度の会費の有効期間は、平成31年4月1日～令和2年3月31日です）今年度納入された方には、宛名シール：会費有効期限 R2/3/31 と書かれています。

※ゆうちょ銀行の自動引落としにて会費お支払の方は、通常の振込をお願いすることになりました。ご面倒をおかけすることになります。よろしくお願いいたします。個別にご連絡させていただきます。

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。
寄付金、随時受け付けております。寄付金は税金控除の対象となります。よろしくお願いいたします。

（※口座番号・口座名義が変更されました。）

ゆうちょ銀行：01740-2-170105

口座名 特定非営利活動法人 じゃっど

◆3月9日スタディツアー報告会が南日本新聞に掲載されました。

★★ 編集後記 ★★

★中断している机いす募金の再開の可能性がある・・・
うれしいですね！！ (KAMI)

★新規プロジェクトに向けて道筋がみえてきました。
実行できるまで一筋縄ではいかないと思いますが、ラオスの子供たちの笑顔のためにガンバリ！（はいぶりっじ）

★たぶん15年ぐらい前から近く通学路で毎日旗を持ち子供たちの安全を見守ってくれている方がいる。何事もだ継続するって本当に大変だと思う。すばらしい！（K.I）